



松橋小校区の体育祭の様子、みんな楽しそうですね！

## 市 スポーツの秋、満喫 市民体育祭

10月7日、市内各小学校単位で市民体育祭が開催されました。

市民体育祭の一番の狙いは、スポーツへの関心や健康への意識を高めてもらうことですが、それ以外にも地域の皆さんが楽しい一日を過ごしなが、年齢や世代間の差を飛び越えて、交流や親睦が図られることも大きな目的のひとつです。

この日は、日ごろ運動不足気味の大人や子どもが一緒になって、さわやかな汗を流し“スポーツの秋”を満喫しました。

## 熊 礼儀を重んじ精神統一 本県四半的弓道連盟 スポレク松橋大会

10月13日、松橋総合体育文化センターウイングまつばせで「2007 熊本県民スポレク祭」を兼ねた「松橋四半的弓道大会」が行われました。四半的は、正座して4間半（約8m20cm）先の的に向かって矢を放ち、その的中数を競う競技で、弓・矢の長さ4尺5寸（約1m37cm）、的の直径4寸5分（約13.5cm）と、すべて4.5の数字が用いられることが、その名の由来とされています。

この日、会場のウイング・メインアリーナには、熊本県内外から186人、30チームの出場選手が集結。開会行事・「射の道」の斉唱や射礼（射技の披露）の後、5人1チームとなり、熱戦を繰り広げました。



一本の矢に全力をこめます

## 松 大きく育てて！ 松橋保育園年長児が農業体験



おいしい大根とハウレンソウになりますように

10月17日、松橋町農村女性支援グループ（清原郁子会長、12人）が松橋保育園年長児25人と同グループ山田委員所有の畑で種まきをしました。

これは、種まき・栽培・収穫の農業体験と料理教室を通して、未来を担う子どもたちが幼年期から「生産」と「消費」、「食」と「農」の理解を深めるためにJA熊本宇城の協力で実施しているものです。

来年1月には、この日植えた大根とハウレンソウを収穫し、地元で採れる農産物などと合わせて、「親子料理教室」を開催するように計画しています。



代表して5組の金婚夫婦が表彰を受けました

## 金 夫婦仲良く支えあい 婚夫婦表彰

昭和32年に結婚された179組の夫婦がそろって金婚を迎えられました。

10月3日、ウイングまつばせで「金婚夫婦表彰式」が行われ、140組が出席。熊本日日新聞社と市からそれぞれ表彰状と記念品が贈られました。

阿曾田清市長が「10年後のダイヤモンド婚を目指し、今後も充実した人生をお過ごしください」とあいさつ。金婚夫婦を代表して松永信雄・桂子夫婦が「これからも共に手を携え、健康で仲良くやっていきたい」と謝辞を述べました。

また、この日は、宝塚歌劇団出身の姫由美子さんによる「輝いて生きる」と題しての講演もありました。

昭和32年（1957年）は、岸信介内閣の成立、国産ロケット第1号の打ち上げ成功、5千円札（聖徳太子の肖像）と百円硬貨の発行、カラーテレビの実験放送開始、長嶋茂雄選手の巨人軍入団などがありました。

## 秋 美しく咲き誇るコスモスの中 桜ジョギング大会

10月13日、小川町のコスモス街道で、秋の名物行事、第9回秋桜ジョギング大会（宇城市・宇城市陸上協会小川支部主催）が開かれました。

砂川右岸の黒橋一新田橋間を折り返すコースで実施。市内外から約250人の参加がありました。

河江小学校体育館で開会式を行った後、満開のコスモスが待ち受けるコスモス街道へ移動。ぬけるような秋晴れの青空の下、沿道からの熱い声援を受けながら、コスモスの中を走り抜けました。

レース終了後、参加者全員におにぎり、白玉だんご入りのぜんざいが振る舞われ、おいしそうにほお張っていました。



秋の風を感じながら心地よい汗を流しました

## 秋 多くの人出でにぎわう 秋季例大祭



疾走する馬に大歓声が上がりました

10月9日、三角町の郡浦神社の秋季例大祭で、恒例の流鏝馬（やぶさめ）の奉納があり、約200メートルの参道には、たくさんを見物客が押し寄せました。

流鏝馬は32年間中断していましたが、平成12年に地元有志でつくる「三宮馬追い会」（吉村俊治会長）らの努力が実り復活、今年で8年目になります。

装束姿の2人が、力強く馬を走らせ一騎、二騎と次々に射抜くと参道から大きな拍手と歓声が上がりました。

また、この日は、地元の子供たちによるみこしや相撲の奉納もありました。